

分け隔てのない

インクルーシフ・スタジアムを考えよう！！

参

加

者

募

集

開催日時

2021年3月20日(土)
13:30~16:30

(受付開始 13:00~)

開催方法

オンライン【Zoom】



皆さんは、健常者と障害者との様々なバリア
(施設・設備、制度、慣習、観念(偏見)等)
を感じたことはありませんか？
今回はスタジアム編！誰もがともに笑い、
驚き、感動できる分け隔てのないスタジアム
について一緒に考えましょう！



建築・デザインを学ぶ
学生の皆さん！
是非、ご参加ください！！



対象

○大学、短大、専門学校に通う
学生の皆さん
○CTMに興味・関心のある方

定員・参加費

定員 10名
参加費 無料

プログラム①「BF(バリアフリー) トーク」

それぞれの立場でバリアフリー(BF)に取り組むお二人から、BFに関する法律の変遷、BF 珍百景？、BFと観光、心のBF等、様々なバリアをなくすためのヒントを軽快なトークでお伝えいただきます！！

よしだ まさとし

吉田 雅俊さん 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

いわきり げんた

岩切 玄太 自立生活センター 自立の魂 ~略して じりたま！~

プログラム②「ディスカッション 誰もがともに笑い、驚き、感動できるスタジアムとは」

障害がある人は普段どんなバリアで困っているの？どんな配慮が必要なの？参加者で共有しながら、誰もがともに笑い、驚き、感動できるスタジアムとは何かをディスカッションします！

私達じりたまは、障害者が主体となり、どんなに重い障害があっても自分らしく地域で生活することを目指し、そしてそれをサポートしている障害当事者団体です。

Consideration = 思いやり Thinking = 考える Mass = 集まり

CTMでは「気軽に楽しく話をする場」をつくり、障害の有無に関係なく自然に交流が
持てる地域社会をつくることを目的にしています。

主催：自立生活センター 自立の魂 ~略して じりたま！~

お申込み・お問い合わせはこちらまで！☎TEL：045-341-3698 E-mail：ctm@jiritama.jp

所在地：〒231-0052 横浜市中区英町3-4

URL：http://www.jiritama.jp/

担当：小野 岩切 鶴田

トーーーーークゲスト プロフィール



よしだ まさとし
吉田 雅俊 (株)オリエンタルコンサルタンツ 地域活性化推進部

趣味：野球観戦 ビール（強くはない） 脂肪の貯蓄（ただのメタボ）

BF 活動：交通事業者向けバリアフリー研修 ユニバーサルツーリズム
沖縄観光バリアフリー事業 など

BFやUDを考えるときには、当事者の皆さんに意見を聞くことをいつも心掛けています。ひとりのアイデアには限界があるし、お互いを知り、共に考えることで多くの『気づき』や『アイデア』に出会えます。そんな『気づき』のある楽しい時間を共有しましょう。



いわきり げん た
岩切 玄太 自立生活センター 自立の魂 ～略して じりたま！～

趣味：ライブ鑑賞 古本屋巡り 乃木坂46 齋藤飛鳥を愛でること

BF 活動：2020 東京オリパラ競技場 BF 調査 企業向け障害理解促進研修

KEIO 2020 project バリアフリーマップ制作委員会 アドバイザー 他

ウイルスから身を守るための距離、障害者と健常者の距離。《誰かに会いたい》、《一緒に〇〇へ行きたい》という何より純粋な思いはいつの日か今ある距離を縮める力になるでしょう。みんな一緒がいちばんいいね！未来の私たちの《最高の出会い方》をともに考えましょう。

自立生活センター 自立の魂 ～略して じりたま！～

1970年代のアメリカ、バークレイに誕生した「自立生活センター」。今では多くの国に広がりを見せています。日本では1990年代に、八王子の「ヒューマンケア協会」を皮切りに、2020年10月現在、全国に120団体以上の自立生活センターが設立されています。私達じりたまは、2002年4月に発足しました。

自立生活センターは、これまで、サービスの「受け手」でしかなかった障害当事者が主体となり、サービスの「担い手」になっている団体です。

自立生活センターの役割として、障害や障害程度に関わらず、ひとり暮らしのサポートや介助サービスの提供、相談業務、情報提供、啓蒙活動（大学から小学校、企業などへの講義や講演）、

※1ピア・カウンセリング、※2自立生活プログラム（ILP）、権利擁護活動、就労の創造など、「私達抜きに、私達のことを決めないで！」をスローガンに活動しています。

各地の自立生活センターは、地域にそくした活動や、センター独自の活動も大切にしています。じりたまでは、2016年7月に起きた**相模原障害者殺傷事件**を機に、「ともに生きる社会」を考える神奈川集会を定期開催したり、東日本大震災を風化させないために、被災地の障害者と様々な活動をする**障害者エンパワメントプロジェクト**を発足しています。



※1ピアとは「同じ背景を持つ仲間」という意味があります。カウンセラーと相談者という関係性ではなく、対等な立場で、平等な時間を共有し、互いに傾聴することで自分を大切にできるカウンセリングです。

※2 障害者が自立生活に必要な心構えや経験を重ねる場です。公共交通機関を利用する、家事を経験する、ヘルパーとの生活を経験するなど、障害当事者スタッフと一緒にプログラムを重ねることで、「支援」ではなく、「その方自身の力」をつけることを目的としています。